

鳴門海峡 エリア

NARUTO STRAIT AREA

05 大鳴門橋と渦潮

渦の道は全長480mの海上遊歩道。眺望ガラス床からは、迫力のうず潮が見ることができます。千景展望望台からは、鳴門海峡の潮流を背景に記念撮影。そして、徳島藩主徳川頼宣ゆかりのお茶屋展望台からは、四国と淡路島を結ぶ大鳴門橋を望む大パノラマを満喫することができます。

※船着のある方は観潮船(2社あります)に乗っての観潮や、大塚国際美術館で世界の名画を胸板にしたアートをお楽しみいただけます。

ご案内モデルコース		歩行距離 約1.5km(約2時間)
1 エディ入場口	2 お茶屋展望台	3 千景展望望台
オプション ● エスカビル鳴門 (料金は別) 大人4,000円 ● 大鳴門橋展望台(茶屋展望台) (料金は別) 大人6,000円 ● 大塚国際美術館 (料金は別)		

【エディ入場口】へのアクセス

- JR鳴門駅から乗換バスにて約22分(鳴門公園)下車、徒歩5分。
- 大塚神戸方面からは、高速バス(鳴門公園)下車、徒歩5分
- 車の場合は、鳴門公園第1~第4駐車場を利用、徒歩5~10分。

大塚国際美術館

世界の名画1000点以上、陶板でオリジナルと同じ大きさに再現した世界初の「陶板名画美術館」です。(料金大人3,150円)



千景展望望台

鳴門のおみやげ物屋さんが集まる展望台です。ここではみんな集まって全員で記念撮影も人気のひとつです。



お茶屋展望台

大鳴門橋と300mを望む展望台。鳴門海峡を行き交う船も見渡せ、爽やかな風と共にゆつかりとした気分が味わえる人気スポットです。



渦の道

渦の千滴の差が生み出す鳴門海峡の渦潮は、世界三大急流完といわれ、有名な渦潮を生み出します。まるで急流の川のような海水の流れと渦潮を真上から見ることで一度は訪れたい所。(料金大人500円)



地元

鳴門をもっと楽しもう!

ボランティアガイドと歩くと 海・山・町・古・観・感コース



鳴門の観光のメインスポットは、もちろん「鳴門の渦潮」です。そして、四国の玄関口として栄えた鳴門は、古くより人・物・技術・情報などが盛んに行き来した「旅業(むや)街道」の出発地点で、歴史や文化、芸術の宝庫でもあります。また、大切に伝統を守り続けている大谷焼の里や、第一次大戦において捕虜となったドイツ兵たちとの交流が今でも息づく佐東地区など、興味深い見どころも点在しています。地元のボランティアガイドと一緒に、一味違った鳴門の町をゆっくりと散策して見ませんか。



地元

ボランティアガイドと歩くと

海・山・町・古・観・感コース

要・予約

申込み・予約は3日前まで受付

なると観光ボランティアガイド会事務局
(一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会内)
TEL 088-684-1731 FAX 088-684-1732
E-mail info@naruto-kankou.jp
8:45~17:30(年末年始休業)

※ガイド料は無料です。ただし、施設入場料や食事費用などの実費はお客様の負担となります。※集合場所・時間は詳細案内に記します。(ただし、01-02コースは時間固定です)※天候、参加人数により、コースの休止や変更の場合があります。※その他、ガイド会により保険料等が必要になる場合があります。※行程・日程などによりガイドをお受けできない場合がございますのでご了承ください。(予約不可日:4月29日~5月5日、8月8日~15日、12月25日~翌年1月5日)※コース案内中、万一お客様が事故や災害によって損害を被られた場合、ボランティアガイド会及び事務局がその責任を負うものではありません。また、コース中、自然保護、歴史・文化財保護にはご協力をお願いいたします。※このパンフレットに記載のある入場料等は平成26年1月現在のものです。今後、変更の可能性があります。

鳴門市街 エリア

NARUTO CITY AREA



潮明寺

紀貫之が土佐泊に寄港した時に詠んだ歌と「しころを」住み所のなにしおえはきよる浪をもあわれとぞ見るの歌碑があり、鳴門市の文化財に指定されています。

小宰相局の史跡

愛する夫の死を聞き、恋しさに耐えかねて海に身を投げた小宰相局の史跡です。局がその時懐妊の身であったことから史跡に折れば子を授かるとも伝えられています。



渡船

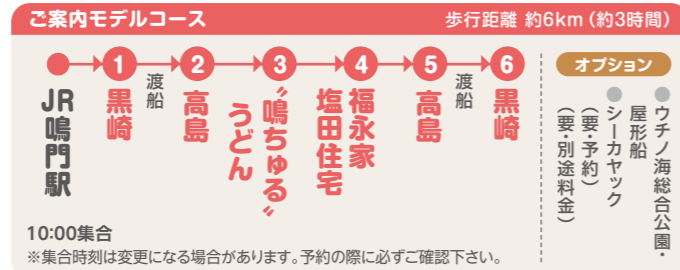
川や内海が多い鳴門では、昔から渡船が日常生活の足として活躍しています。現在鳴門市内では3箇所で開催されており、渡船ファンの間でも人気があります。(乗船は無料!)

新 コース

02 “鳴ちゆる”うどんと福永家塩田住宅

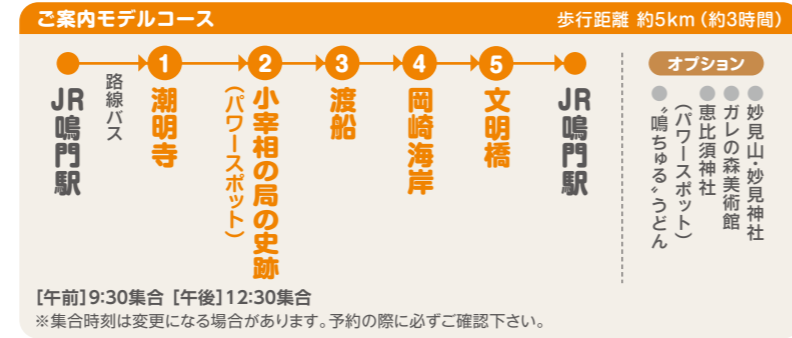
(国指定重要文化財建造物)

JR鳴門駅から塩田発祥の地「えびす山公園」を経て、かつて塩田で栄えた高島へ。高島が発祥と言われる鳴門のソウルフード“鳴ちゆる”うどんを味わい、国指定重要文化財建造物「福永家塩田住宅」を訪れ、その名残を探ります。(見学は外観のみ)帰りは小鳴門海峡を渡船で黒崎へ渡ります。



01 鳴門の渡船(無料)と撫養街道散策

JR鳴門駅から路線バスを利用し、小鳴門橋を渡り漁村の風情が残る土佐泊へ。ここには土佐日記で有名な紀貫之ゆかりの寺「潮明寺」、悲運の死をとげた平家の大將・平通盛の妃、小宰相の局(こさいしょうのつぼね)の史跡があります。土佐泊から岡崎へは、現在も鳴門市民の足として活躍中の“渡船”で渡ります。その後、かつて四国の玄関口として栄えた「撫養街道(むやかいどう)」を歩きながら旧街道に残る町並みを見ながら鳴門駅へ。
※途中、鳴門市街地を一望できる「妙見山公園」(かつての益田大膳の居城、岡崎城跡)にも登ることもできます。



岡崎海岸

大鳴門橋を望む“ビューポイント”です!(以前は海水浴場でした)休日には、釣りや水遊びをする地元の人で賑わいます。



“鳴ちゆる”うどん

麺は縮れた細麺で、煮干しなどをういたあっさりした味わい。刻み揚げに、ネギをのせたシンプルなお取り合わせが人気。



福永家塩田住宅

福永家は寛文年中に、高島村で塩田を開き製塩業を営み、この付近は江戸時代以来、鳴門塩田の中心でした。この住宅の製塩関係建物と、入浜塩田はその唯一の遺構です。(国重要文化財指定)

〈注〉福永家塩田住宅は外観のみの見学になります。



陶芸体験

各窯元では、皿、湯呑等の作陶・絵付けといった陶芸体験ができ、人気です。(要・予約)(別料金)



福寿醤油

創業文政9年の老舗。阿讃山脈から流れる豊かな伏流水を使い、大豆は粒が大きく甘みのある徳島産のものを厳選して、現在もこだわりの醤油を作りつづけています。

03 大麻町史跡探訪と大谷焼の里 窯元・蔵&蔵めぐり

阿波神社、種時大師東林院を廻り、大谷焼の里の窯元をゆっくり探索し、松浦酒造・福寿醤油の蔵見学をします。



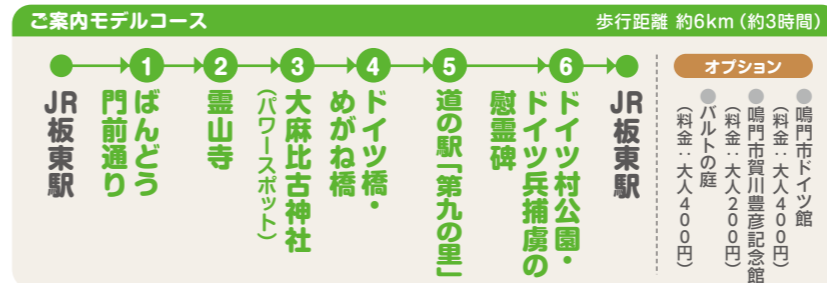
「阿波神社」へのアクセス

- JR鳴門駅から列車にて約15分「JR阿波大谷」下車、徒歩10分。
- 鳴門ICより車で約10分。
- 車の場合は、阿波神社駐車場を利用。



04 門前通りおもてなしの街・板東と鳴門市ドイツ館

板東駅から昭和の面影を残す“ばんどう門前通り”を散策しながら、四国八十八箇所霊場一番礼所「霊山寺」へ。御参りをすませたあと、阿波の国一の宮「大麻比古神社」へ。その後、鳴門の物産品が揃う「道の駅・第九の里」に向かいます。すぐ横にはドイツ兵捕虜たちの活動や板東の人たちとの交流の様子を学べる「鳴門市ドイツ館」もあります。(ドイツ館前から路線バスで鳴門市街へ戻ることもできます)俘虜収容所跡のドイツ村公園、慰霊碑、菩提樹の里、そして板東駅へ。
※阿波大正浪漫「バルトの庭」を見学しながら徒歩で板東駅へ戻ることもできます。



「JR板東駅」「霊山寺」へのアクセス

- 「JR板東駅」へはJR鳴門駅から列車にて約40分。(池谷駅にて乗換)
- 「霊山寺」へはJR鳴門駅から徳島バス大森線にて約26分「霊山寺」下車。(1日に6本)または、鳴門ICより車で約15分、板野ICより車で約5分
- 車の場合は、霊山寺駐車場を利用。

大麻 エリア

OASA AREA

大谷焼の里

江戸時代後期、四国八十八箇所霊場巡礼に来た焼物細工師・文右衛門が、大谷村において作ったのがはじまりとされます。身の丈ほどもある壺や睡蓮鉢の大谷陶器が有名で、平成15年に国の伝統的工芸品に指定されました。



大麻比古神社

阿波一の宮として、県下一の社格を誇り、また「おおあさはん」の名で親しまれています。境内には、樹齢千年の大楠、ドイツ兵捕虜たちの手で造られた「ドイツ橋」などがあります。



霊山寺

“一番さん”の名前で親しまれ、一年中白装束に同行二人と書かれた菅笠をかぶったお遍路さんで賑わっている四国八十八箇所霊場一番礼所。奈良時代に僧行基が聖武天皇勅願の道場として開基したといわれています。